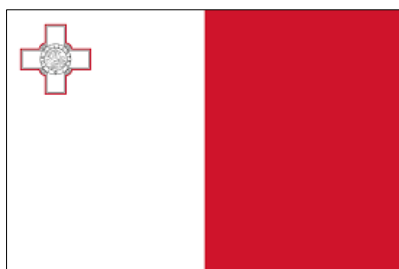


# 安全の手引き



2025年2月  
在マルタ日本国大使館

## 目次

I	はじめに .....	2
II	防犯の手引き .....	2
	1. 防犯の基本的な心構え.....	2
	2. 最近の犯罪発生状況.....	3
	3. 防犯のための具体的注意事項.....	3
	4. 交通事情と事故対策.....	4
	5. テロ・誘拐対策.....	5
	6. 緊急連絡先.....	5
III	在留邦人用緊急事態対処マニュアル .....	5
	1. 平素の準備と心構え.....	5
	2. 緊急時の行動.....	6
	3. 緊急事態に備えてのチェックリスト.....	6

## I はじめに

マルタ共和国は他の欧州の国と比較しても治安は良いですが、繁華街やビーチを中心にスリや置き引き等の軽犯罪は多く発生しています。「自分の身は自分で守る」という意識をもち、見知らぬ人を安易に信用し、興味本位でついて行く、貴重品が見える状態で街中を歩く等の行為は避けるよう心がけましょう。

## II 防犯の手引き

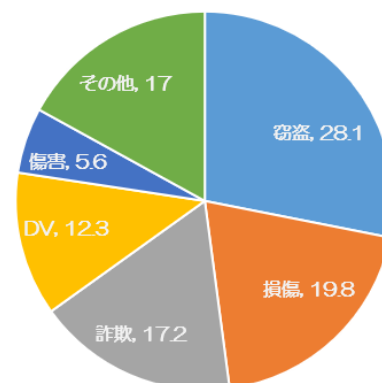
### 1. 防犯の基本的な心構え

- 日頃からマルタの現地ニュース等をフォローし、最新の現地情報を得る。
- 万が一の事態に備え、居住先付近の病院や警察の所在地を確認しておく。
- 特に観光客が増える7～9月のバカンスシーズンに繁華街やビーチを訪れる際は、貴重品や周囲の状況に気を配る。
- 見知らぬ人を安易に信用し、ついて行く等の行動はしない。

## 2. 最近の犯罪発生状況

2023年のマルタ国内の総犯罪件数は、約1万7千件で、例年の減少傾向から一転して、前年比13%増でした。主に詐欺(94%増)、コンピュータ関連犯罪(82%増)、精神的暴力(20%増)、スリ等の犯罪手口で件数が増えています。

出典: CrimeMalta observatory annual crime review : year 2023



## 3. 防犯のための具体的注意事項

### (1) 住居面

- 物件選定時、周辺的环境や近隣居住者について確認しましょう。
- 物件契約前に、扉や窓の鍵がすべて施錠できるか確認し、施錠できない場合は大家さんに修理を依頼しましょう。
- 訪問者があった際、すぐに玄関のドアを開けず、インターフォンやモニター等で訪問者を確認してから、ドアを開けるようにしましょう。
- 外出時に限らず、家の鍵は施錠するようにしましょう。

### (2) 外出時

- 繁華街への外出時の他、バス停での待ち時間を狙ったスリ、ビーチやレストラン等での置き引きに注意しましょう。
- 夜間のクラブ街(パーチャビル)では、店員による強引な客引き、違法薬物の売買、薬物使用者や酔っ払いによるトラブルも発生していることから、このような場所に行く際は、普段以上に周囲の状況と貴重品に注意を払い、怪しい人物・集団がいないか確認しましょう。
- 貴重品(パスポートやその他身分証、財布、鍵等)はポーチ等に1か所にまとめず、できるだけ分散して保管の上、携行するようにしましょう。
- 紛失に備えて、パスポートのコピーを別途用意しておきましょう。
- 車を離れる際は、かばんや貴重品を車内に放置しないようにしましょう。
- 信号がない交差点、道幅が狭く、歩道が存在しない又は障害物等で歩行不可の歩道が多く存在します。歩行の際は車の動きに注意しましょう。

#### 4. 交通事情と事故対策

##### (1) マルタの交通事情

- 一方通行が多く、また、バレッタの旧市街内は車輛通行禁止の道も多くあります。当地での運転に慣れない間は事前に地図を確認してから運転しましょう。
- 車輛の駐車または一時停止によって、元々狭い道幅がより狭くなっていることが多くあるため注意しましょう。
- ラウンドアバウト（環状交差点）やスピードの減速を促すスピードバンプ等、日本の道路では余り馴染みのない道路構造が複数箇所あります。特にラウンドアバウトの進入・離脱方法について事前に確認しておきましょう。



##### (2) 交通規制（乗用車）

###### ◆ 制限速度

市内一般道：時速50km

それ以外で別途指定がある道路（郊外等）：時速60～80km

###### ◆ 飲酒運転

飲酒運転は禁じられており、酒気帯び運転の基準値は以下のとおりです。

<一般>

血中アルコール濃度 0.5g/l

<運転初心者やタクシー等商用車>

血中アルコール濃度 0.2g/l

血中アルコール濃度や違反回数に応じて、罰金、1年以上の免許停止や1年以下の懲役等の罰則が科されます。

###### ◆ シートベルト

乗員は、前部及び後部座席ともに、シートベルトの着用が義務づけられています。また、12歳未満で身長が150cm未満の子どもはチャイルドシートの使用が義務づけられています。

###### ◆ その他

運転中の携帯電話の使用や窓側に面する耳でのイヤホンの着用は禁じられています。

## 5. テロ・誘拐対策

### (1) テロ対策

マルタでは、反政府組織の活動や国際テロ組織の活動は確認されていません。

### (2) 誘拐対策

マルタにおいて邦人を対象にした誘拐事件は報告されていません。

## 6. 緊急連絡先

### (1) 警察・消防・救急車：1 1 2 (EU加盟国内の共通緊急通報番号)

### (2) 在マルタ日本国大使館

開館時間：平日 9：30～12：30 及び 13：30～17：00

領事窓口：月・水・金（除く休館日）9：30～12：30 ※予約制

住 所：35, Ground Floor, Tigne Place, Tigne Street, Sliema, Malta

電 話：(+356) 2732 4491

メール：[embassy@ve.mofa.go.jp](mailto:embassy@ve.mofa.go.jp) (代表)

[consular@ve.mofa.go.jp](mailto:consular@ve.mofa.go.jp) (領事)

## III 在留邦人用緊急事態対処マニュアル

### 1. 平素の準備と心構え（連絡体制の整備）

#### (1) 在留届

マルタに3か月以上滞在する方は、滞在目的を問わず、在留届の提出をお願いいたします。

また、届出の内容に変更が生じた場合（連絡先の変更、マルタ国内の転居等）は「変更届」、帰国される際は「帰国届」を提出するようお願いいたします。在留届はオンライン（ORR ネット）での提出が可能です。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

緊急事態発生時には、大使館から在留届を基に安否確認、情報提供等を行います。届出の情報は最新の状態にしてください。

#### (2) たびレジ

3か月未満のマルタ滞在、またはマルタ国外に渡航（出張や旅行）する際は、「たびレジ」に登録してください。渡航先の大使館等の在外公館から最新の安全情報を受け取り、万が一の緊急事態では緊急一斉メールを受信することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

### (3) ご家族との連絡先共有

マルタ国外のご家族に居住先住所や電話番号等の連絡先を共有し、万が一の事態に備えて、日頃から連絡網を確立しておきましょう。

### (4) その他

当地のニュースや SNS 等で、最新の現地情勢をフォローする習慣をつけましょう。

## 2. 緊急時の行動

### (1) 基本的心構え

緊急事態発生時は、慌てずに、できるだけ平静を保ち、当地ニュースなどにより最新の情報収集を心がけてください。

### (2) 大使館への通報

- 邦人の生命・身体・財産に危害が及んだ場合、または及ぶ恐れがあるときは、その状況を大使館までお知らせください。
- 皆さまが知り得た有益な情報を当館に通報してください。他の邦人の方々への貴重な情報となります。

## 3. 緊急事態に備えてのチェックリスト

- ◆ パスポート、現金、クレジットカード等…直ぐに持ち出せるよう保管。
- ◆ 非常用食料等
- ◆ 常備薬の他、外傷薬、石けん、絆創膏、包帯など応急処置グッズ
- ◆ 懐中電灯、予備のバッテリー、ライター、マッチ、ナイフなど
- ◆ 衣類、履き物、洗面用具など